



## 地球のかおり

イベリア半島の南西端にあるポルトガルのサンビセンテ岬。大西洋に突き出していることから、古来、航海の目安にされてきたという。大航海時代、ポルトガル商人を乗せた船も、この沖を通ったのだ。そんなことを思いながら、遠くに見える灯台を自指す。昔は海底だったのだろう、赤茶けた崖には無数の貝殻が。気がつくとか、静かだった海はいつの間にか荒れ、怒濤の波が崖に打ちつけていた。

(夢絵作家 久樂迎古)

貝殻と灯台